

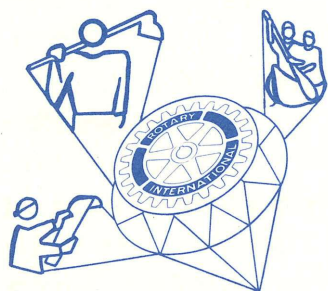


THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH



Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

No. 174 1990年4月27日



国際ロータリー会長 ヒュー・M・アーチャー

1989-90年度国際ロータリーのテーマ

ENJOY ROTARY!
ロータリーを
楽しもう!

本日の予定 1990年4月27日(第175回)

卓話(イニシエーション・スピーチ)

『CIデザイン』

関 征春君/当クラブ会員

(株)キャップ・クリエイティブ代表取締役

先週報告

1990年4月20日 第174回

夜間例会(レディス・デー)「風路田 政利のマジック」

アマチュアマジシャン・風路田 政利氏

司 会: 佐藤 定宏 会長

♪ロータリーソング: 「我らの生業」

: 「It's a small world」

ソングリーダー: 四分一 勝 君

ニコニコボックス紹介: 高 須 康 有 君

同 伴 者 紹 介: 佐藤 定宏 会長

出席状況: 会員 56 名中/出席 36 名/欠席 20 名

同伴者10名(夜間例会のため、来客はありませんでした)

◎会長報告

(1)新会員加藤昌明君のご紹介がありました。

(2)米山奨学生孫家珍さんの奨学生の身分が3月末日で終了しましたが、孫さんのカウンセラーを務められた斉藤茂之君に(財)ロータリー米山記念奨学会の湯浅恭三理事長から感謝状が授与されました。

◎慶事披露

お誕生日 4月23日 村 川 優 君

100%出席 1年 高 須 康 有 君

◎幹事報告

(1)地区大会の写真とビデオが出来ました。希望者は事務局に申し込んで下さい。

(2)アイメイト基金は、(財)アイメイト協会への指定寄付として、4月17日に社会福祉法人東京都共同募金会に寄付しました。その結果、皆様からの寄付については所得税上の寄付金控除が認められる事になりました。

(3)地区大会に写真を展示された東京南RCの三木淳氏から写真2点を本クラブに寄贈されましたので、希望者に差し上げます。

(希望者多数のため、抽選の結果、写真は小原健君と山下忠治君に渡りました)

◎新会員ご紹介('90. 4. 20. 入会)

加 藤 昌 明 君



生年月日 1929年10月16日生

事務所名 加藤公認会計士事務所

役 職 所 長

住 所 港区新橋2-16-1

ニュー新橋ビル506

電 話 (581) 9225

職業分類 経営相談

自宅住所 杉並区松庵1-15-27

電 話 (334) 0501

推 薦 者 馬場 一廣 君

保科 正 君

ニコニコボックス

(順不同・敬称略)

高須 康有 平井さん、度々お写真ありがとうございます。又、先日の南クラブとの対抗ゴルフ会で厚くも優勝させて頂きましたので、又、早や1年が過ぎ皆さまのおかげでございます。

沖 宏之 小湊先生大変ありがとうございました。

山下 忠治 今日は、私の正室が出席できず残念です

4月20日 3件 ￥13,000

それぞれ、多額のご寄附を頂き有難うございました。

「社会奉仕について」

社会奉仕委員長 丸山 忠典

「社会奉仕はロータリーの心臓の鼓動だ」との言葉がありますが、社会奉仕がクラブ活動の中で、大変重要であると認識して、本年の社会奉仕活動を考えてきました。

社会奉仕委員会では、本年度も視力障害者の手足となり、障害者の社会活動に寄与する盲導犬1頭を、社会奉仕に意欲を持たれる障害者の方に寄与することに決めました。当初は昨年同様、ニコニコボックスから調達する予定でしたが、この目的のための会員の善意を集約するため、アイメイト基金のためのボックスを受付に設け、基金活動をしてはどうかということになり、理事会の承認を得て、10月13日からアイメイトボックスがスタートしました。

お蔭様で、毎週沢山の方からご協力を頂いて、本年2月16日に目標の150万円を達成しました。実質16週間で150万円、週に10万円弱の急ピッチな募金であった訳で、絶大な御協力に心から感謝申しあげる処であります。

盲導犬は、1938年（昭和13年）に日本へ観光に来たアメリカ人が連れていたのが初めて、当時シェパードのマニアが4頭を私財で輸入したと云われています。

その後、終戦直後の昭和20年8月30日から、犬を飼う訓練が始まり、当時は米軍の犬を預って実施されました。

アイメイト協会の塩屋理事長も、自ら目かくしをして、1か月間、盲人の方の身になって暮らし、犬との生活をすると云われています。

こうして出来上がった犬の1号が昭和30年に、盲人の方にひきとられて行きました。

全盲の人は、1人では歩けず、他人の手を借りる事が必要ですが、そのために行動半径が小さなものになってしまいます。この手助けを盲導犬が受け持つのですが、犬が優秀である事だけでなく、盲人の方にも、犬との4週間の宿泊を通して、自分の眼を作るという姿勢が必要となります。塩屋理事長は自分の土地を提供され、16人が宿泊出来る2階建の施設を作って居られ、奥様が調理一切をなさっていると云う40年にわたって盡力されている御様子は、感動を覚えずには居られません。

私共は幸いにして、この事業にお手伝い出来た訳ですが、他の多くのロータリークラブでは社会奉仕活動をもて余しているという事実があるようです。

2月21日に虎の門の葵会館で社会奉仕委員会が行なわれた時のことです。千代田、京浜、山の手、多摩南、多摩中、多摩東の6分区の社会奉仕委員長57名が一堂に集まり、分区ごとに6テーブルに分かれて、クラブの事例発表が行われました。

発表された内容は、いずれも都市型のクラブでは、社会奉仕活動は極めて難しいという事でした。

例えば、老人ホームへのアプローチは思っていた程容易

ではなく、先方からも余り歓迎されない。ローターアクトも該当する若者が少なく、やむなく自分の会社の若い社員を動員せざる得ない。インターアクトも学校の教育方針と合わないで受け入れられ方が少ない。1つのクラブで少額の金額を社会奉仕に当てても、意義あることが出来ないなど、予想に反した話の連続でした。そして社会奉仕なんて、なま易しい事ではなく、本当にこの大役を押しつけられると困ると嘆いて居られる人が多かったのです。

しかし、ニコニコボックスを活用する事も御存知ない社会奉仕委員長が居られたのには、驚きました。従って社会奉仕に当てられる額も1件3万円、5万円とこまぎれのものや、多くて20万円、50万円という程度でした。

私の発表する番になり、アイメイト協会への寄附を実行した事、しかもアイメイトボックスを設けて、16週間で、150万円と云う多額の金を集めた事を発表した時には、驚きと賞讃の声が起りました。「新南RCは、確か50人位のクラブでしょう」と、隣の方から質問があり、それを肯定しますと、「考えられない」「すばらしい」とメンバーの団結した社会奉仕活動に舌を巻いておられました。私達のクラブは確かにメンバー各位の実行力と協力度が強いと自覚してはいましたが、このような機会に、再認識出来たことは嬉しく、且つ誇り高いものでした。



「本年度のテーマ緑化作戦」

本年度最初のクラブ協議会で、「大気汚染改善へ、緑化作戦」というテーマを提案しました。丁度新聞紙上でも、地球環境悪化の要因を探る事が採り上げられ、①地球の温暖化、②酸性雨、③熱帯林の破壊、④海洋汚染等が報道されていました。

化石燃料、即ち石油、石炭、天然ガスを燃やす事による汚染物質の発生を知っても、これを制限するとか、節約を叫ぶとかは出来ませんので、せめて大気中の炭酸ガスを吸収し、酸素を放出する一大工場である森林、樹木を、街に少しでも植える事で、自分達の生活している環境を良くする事が大切であると考えました。

都市の環境は一般的に悪いので、都市緑化に使われる樹木は、「公害に強い木」になりがちです。然し、大切な事は「公害に弱い木」でも育つ環境にする事です。植物の存在は、その環境を総合的に表現していることになります。特に寿命の長い樹木は、永年にわたる環境の歴史的な表現者という性格を持っています。ですから、環境汚染の進行を教えてくれる木が必要です。弱い木が枯れたら植え直す、そして枯れた原因を人々に思い知らせる啓蒙活動も大切だと思います。

六本木から、アークヒルズまで、街路樹の下に植えてある植木。それは何年前かにきれいに植えられ、相当に大気汚染を防ぐ役割をしてくれました。然し、そのいたみ方の激しい事、歯の抜けたように枯れていたり、痛々しく折れていたり、ごみや空缶に覆われ、窒息寸前であったり、更には全く抜けてしまっていると云った惨めな状態です。植樹と云うのは、国なり、市なり、区なりがやるものであって、私共がやるのは難しいということをよく聞きます。確かに植樹をしても、手入れや補充をしないために本来の役目を果たしていない所が多く見られます。その欠けた所を補い、都市の美観を保つと同時に、少しでも大気をクリーンにしたいと思っております。

家庭の植木鉢の木や花は、毎日丹精したり、声をかけたり、触れてあげると成長が違うと云います。

何もしない鉢と比較すると大きな差がつくことがわかります。街路樹1本1本にも、そのような暖かい態度で接する必要があります。

本年はアイメイト募金を実行出来たので、植樹までは無理ですが、今後の奉仕の一つとして、欠落した樹木の補充や、街の清掃などを採り上げて欲しいと考えています。

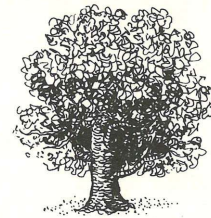
今年は50本植換えた、次の年は80本補充した。と云う積み重ね、つまり継続した奉仕が大事でしょう。

社会奉仕活動と云うと、大げさに考え、構えてしましますが、身近な、足もとを見つめての継続性ある奉仕活動であって欲しい。

先日、4月7日(土)に、六本木の交叉点から、溜池へ向って左側の歩道を、アークヒルズの手前迄歩いて街路樹の下草をチェックしてみました。そうしたら、何と軽く100本も枯れた植木を算えてしまいました。特にアークヒルズの向い側の歩道で、溜池寄りの街路樹の下草は、生存しているものが少なく、ひどい状態でした。

緑化作戦を提唱した時に、東京の何処に、植木を植える

のですかと質問された方がいましたが、今、街路樹だけでも欠落した個所は大変多いのです。是非、皆様も、散歩の際に注意してみて欲しいと思います。息もたえだえの植林に愛情を注ぐ事は、大切な事です。少なくとも、私達は此の赤坂、六本木地区の緑の保護者、街の美観の監視人でいたいと思います。



「豊かな時代の社会奉仕」

勝山 英司

近年、日本は豊かになった。しかし、この豊かさはあくまで物質的な豊かさであって、精神的に豊かになってきたかどうか、きわめて疑問である。物質的豊かさはほとんどお金で買えるものであり、現在本当に求められているものは、お金では買えない心の豊かさであろう。だれだって貧しさよりも豊かさを求めている。しかも問題は物の豊かさではなく、心の豊かさを求める時代になってきたことである。

昨年暮れに、私は母を亡くした。20年間近くも半身不随で最近の数年间は寝たきりになっていた。だれが看病したのか。24時間ウォッチの家政婦にほとんどまかせ切りにせざるをえなかったが、それでよかったのであろうか。病人の面倒は身内のものがみるのが望ましいが、現実の問題としては、なかなかできることではない。社会奉仕をしようと思っても、実際問題、我々にできることは、せめて「お金」を寄附という形ですることであって、「心の豊かさ」という形で奉仕することは不可能である。

豊かな時代における社会奉仕のあり方は如何にあるべきか。従来、一般に行なわれてきたような、金銭の寄附の必要性はますます薄れてきている。そして、求められているのは心の豊かさなのだが、どのような形態の奉仕なのか未開発の分野だけに、まだ具体策はだれにもわかっていない。

社会奉仕

社会奉仕はロータリーの鼓動と呼ばれてきました。これは、ロータリーの綱領の第3項を遂行するものです。綱領は、隣人に奉仕の理想を適用するようロータリーアンに奨励するものです。さらに、ロータリーは、個々のクラブ会員に対し、奉仕の実践を通じて、地域社会における位置を自覚し、世界、国家、地域と自己の市民としての立場を関係づけて考えるよう勧めています。 ロータリアン必携 社会奉仕(第4巻)

◎公的機関の緑化推進

都の緑化推進運動

- ①東京都では 21 世紀に向けて、市街地の樹木 1 億本を 2 倍の 2 億本に、また都民一人当りの公園面積を 2 倍にするなどを目標に、緑の倍増計画を進めています。これを推進するために、「緑化指導指針」を策定しています。
- ②この行政主管は「東京都環境保全局自然保護部」というところで、部内に「緑化推進教室」を設けて、緑化運動の普及・啓蒙につとめています。

区の緑化推進運動

- ①大半の区や市では、土木部や都市環境部等に緑化推進の専門セクションを設置しています。
- ②各区市とも最近、補助金の引き上げや条件の緩和など、その内容の充実に努めています。補助金の主体は生垣の設置や塀の撤去費用の一部助成、樹木・苗木の配布などとなっています。
- ③募金の条件や金額は区市ごとに異なっています。

◎夜間例会の記録

会員 36 名、ご夫人 10 名が出席して、夜のひととき風路田政利氏の華麗なマジックを楽しみました。



出席者（敬称略、〔 〕内はご同伴者）

赤松、芦谷、馬場、後藤、平井〔恵子〕、保科、入沢、岩上、岩瀬〔和子〕、加藤〔静子〕、川鍋、小澁〔久美子〕、丸山、宮本、宮武〔洋子〕、村川、永井、二宮、大日方、沖、小原〔栄子〕、斉藤、佐藤〔定〕〔梯子〕、佐藤〔幸〕、関、柴本、四分一、高須、武下、田中〔清子〕、谷村、渡邊〔斐子〕、山田、山川、山下、吉田〔克枝〕

◎ロータリーレート変更のお知らせ

5 月 1 日より \$1 が ¥155 となります。

◎次年度役員理事委員長が決まりました。

1990～91 年度 役員、理事、委員長（敬称略）

会 長(役 員)	渡 邊 治
副 会 長(役 員)	河 原 勢 自
次 期 会 長(役 員)	沖 宏 之
幹 事(役 員)	宮 本 正 祥
副 幹 事	青 野 信 次
	馬 場 一 廣
会 計(役 員)	山 下 忠 治
副 会 計	赤 松 仁 明
S A A(役 員)	武 下 朗
理 事	勝 山 英 司
理 事	河 原 勢 自
理 事	沖 宏 之
理 事	柴 藤 清三郎
理 事	田 辺 賢 三
理 事	渡 邊 治
理 事	山 川 政 樹
職業奉仕委員長	柴 藤 清三郎
社会奉仕委員長	勝 山 英 司
国際奉仕委員長	山 川 政 樹
ロータリー財団委員長	後 藤 信 夫
クラブ奉仕委員長	河 原 勢 自
出 席 委 員 長	入 沢 頼 二
職業分類委員長	二 宮 利 泰
クラブ会報委員長	山 田 順 則
親睦活動委員長	四分一 勝
雑 誌 委 員 長	宮 澤 博
会員選考委員長	佐 藤 定 宏
会員増強委員長	川 鍋 達 朗
プログラム委員長	岩 瀬 秀 郎
広 報 委 員 長	保 科 正
ロータリー情報委員長	田 島 一 郎
ソングリーダー委員長	高 須 康 有

次週 5 月 4 日は祝日（国民の休日）のため休会です。

◎次回予定 1990 年 5 月 11 日（金）（第 176 回）

卓話予定「おいしくワインを」

岡 真 木 氏

サントリー（株）ワイン開発室課長兼

サントリーパブリシティ・サービス（株）取締役

受付会計／岩瀬・宮澤 来客紹介／四分一

ソングリーダー／村上 ニコニコボックス／関

各担当の会員の方は、11 時 50 分迄にご出席願います。

東京新南ロータリークラブ 会長＝佐藤 定宏 副会長＝川鍋 達朗 幹事＝馬場 一廣 会報＝大日方 真
事務所 〒107 東京都港区赤坂 2-22-19 南部坂アネックス 201 号 TEL. 03-505-5976 FAX. 03-505-6004
例会日 金曜日 12 時 30 分 例会場 東京全日空ホテル 〒107 東京都港区赤坂 1-12-33 TEL. 03-505-1111